

医療連携推進方針

1. 医療連携推進区域

北海道江別市

2. 参加法人

江別市（江別市立病院）
医療法人溪和会江別病院（溪和会江別病院）

3. 理念・運営方針

理念

本格的な人口減少と少子高齢化が進展する中で、江別市及び近隣地域（以下「江別地域」という。）の住民が、住み慣れた地域で、いつまでも健やかに過ごすことができるよう、圏域における医療資源等を効果的及び効率的に活用し、相互に機能分担、業務連携を進めながら、可能な限り江別地域で完結する、安心・安全な医療・介護サービスを将来にわたって安定的に提供することができる体制の構築を目指す。

運営方針

- ① 参加法人間において地域に必要な診療機能等の適正化を図り、将来を見据えた医療需要に対応し、地域医療構想の実現を図る。
- ② 市内の急性期病院における連携強化を図りつつ、回復期や療養機能病院、在宅部門、介護サービス事業者等の参画を視野に、江別地域の効率的な医療提供体制構築を進める。
- ③ 地域において効率的かつ質の高い医療を提供すべく、参加法人間で業務連携を進め、医療提供体制の標準化・共通化に取り組む。
- ④ 地域における持続的な医療提供体制を確保すべく、参加法人の安定的な経営を実現する。
- ⑤ 地域包括ケアシステムの構築に寄与するため、参画法人と江別地域における医療機関、介護サービス事業者との連携を進める。

4. 病院等相互間の機能の分担及び業務の連携に関する事項及びその目標

医療機能の分担及び連携強化

- ① 急性期医療提供体制を充実させ、入院機能の強化や救急医療体制を維持していくことが重要であることから、参加法人が持つ診療機能等を活かしつつ可能な限り江別地域で完結する医療を実現する。
- ② 参加法人全体で、円滑な紹介・逆紹介等の統一的な仕組を構築し、医療連携業務の効率化とともに、江別地域の医療機関や介護サービス事業者とも連携強化を図り、圏域における機能分化、役割分担を進める。
- ③ 地域医療構想の実現を踏まえた病床機能及び病床規模適正化について継続的に検討する。

医療従事者の資質向上・相互交流

- ① 参加法人共同で医療従事者等を対象とした研修を実施しスキルの向上を図る。
- ② 各病院が将来にわたって安定的に医療提供を行っていくことができるよう、必要に応じて参加法人間で職員の派遣等を行う。また、在籍型出向については、課題の整理を行いながら、検討を進める。

医療機器の共同利用・ICTの活用

- ① 高額医療機器の整備は参加法人間で本区域における需要等を勘案し、必要に応じて共同利用ができる仕組みを構築する。
- ② 運用している医療情報連携ネットワークによる患者情報等の共有を進めつつ、将来的に電子カルテシステム等の共有化を目指し、連携強化につながる ICT 活用を進める。

薬品・医薬材料等の共同購入に関する事業

- ① 参加法人の経営効率化を図るため、参加法人共同によるスケールメリットを活かした医療材料・薬品等の共同交渉・共同購入の検討を進める。

委託業務の共同交渉に関する事業

- ① 参加法人がそれぞれ契約する委託業務等について見直し、検討を行い、スケールメリットを活かせる業務から順次、共同交渉を行う。

入院患者の在宅療養生活への円滑な移行の推進、病院間の連携強化に関する事業

- ① 統一的な入退院支援、入退院調整ルールの設定や地域連携クリティカルパスの充実を図り、それを可能とするために必要な施設情報、患者情報の共有を、ICT等を利用し行う。

5. 介護事業その他地域包括ケアの推進に資する事業に関する事項

地域包括ケアシステムの構築に向け、地域住民が住み慣れた地域で、適切な医療が提供できるよう、参加法人と介護サービス事業者の連携強化を進める。

(記載上の注意事項)

- 「2」については、参加法人、参加病院等及び参加介護施設等の名称を記載すること。
- 「4」については、地域医療構想の達成の観点から参加病院等が実施する機能分担及び業務連携について記載すること。
- 「5」については、医療法第70条の2第4項に基づき、参加病院等及び参加介護施設等の相互間で業務連携を実施する場合に記載すること。